

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 2週 集計期間 1/8-14

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症		1	1											2	
咽頭結膜熱															
溶連菌感染症			1		1		1	1	1					5	
感染性胃腸炎		3	8	5	7	5	7	9	5	8	5	19	1	82	
水痘															
手足口病										1				1	
伝染性紅斑															
突発性発疹		1	4	1										6	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎							2							2	
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu	1	4	17	15	19	21	15	24	15	20	21	73	14	5	264
小児科定点総数 362 増減 236 前週比 287.3% 定点当たり 60.3															
病院:開業医 4:358 増減 +2:+234															
内科Flu									1	1		2	6	46	56
インフルエンザ総数 320 増減 214 前週比 301.9% 定点当たり 35.6															
小児科:内科 264:56 増減 +186:+28															

前週は、年始の休診で、診療日数は半分ほどで、前週比は参考です。

総数362、前週の287.3%と、大幅増加です。

首位は、インフルエンザ、前週比338%、定点当たり44と、大幅増加です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比227%、定点当たり13.6と診療日数を考えると不変です。

3位は、突発性発疹、定点当たり1です。以下は、定点当たり1未満ですが、

溶連菌感染症、前週比62%、定点当たり0.8と、流行中です。

RSウイルス感染症、流行性耳下腺炎2名づつが目立ち、残りは、手足口病1名です。

内科も含むインフルエンザ、前週比301%、小児科は6、内科は2定点から報告です。

内科は、A型12名、B型44名、小児科はA型83名、B型131名、不明50名です。

内科は、1:3.6、小児科は、1:1.6程度にB型が優勢です。

1/14小児科当番は、来院数133名、A40名、B40名、胃腸炎11名、溶連菌1名でした。

小児科定点のインフルエンザのピークは、例年、小流行で、250、中流行で350、

大流行で450程度です。この第2週で、すでに小流行の年のピーク程度は出ています。

小流行で、第2週がピークで終わるのか、第3週が350で中流行でピークになるのか、

大流行で、第4週が450までいくのか、なんにせよ、1月中にピークは過ぎそうです。